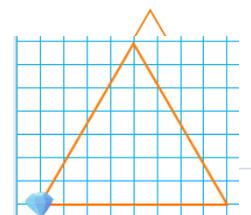


6年：算数科「拡大図と縮図」

1 ベースとなる正三角形を作図する。

 をクリックし、ベースとなる

正三角形を作図する。



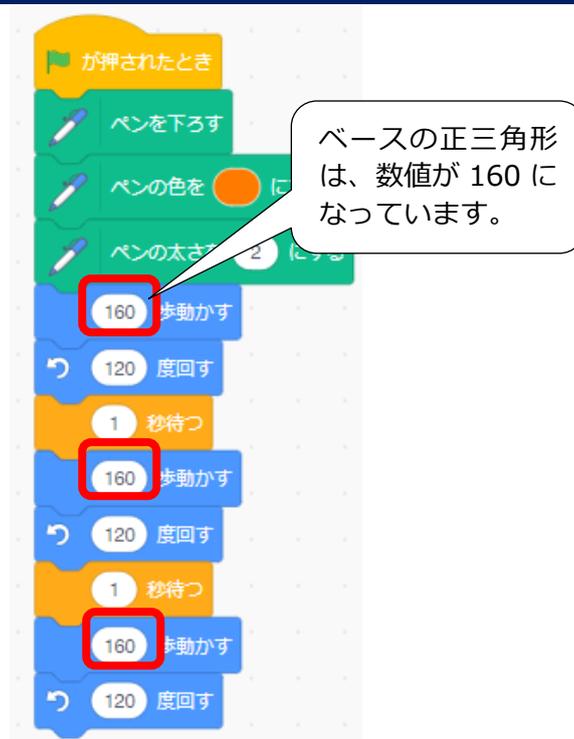
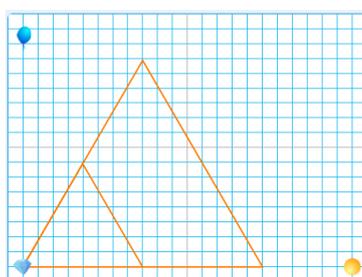
2 2倍に拡大した正三角形をプログラムし、作図する。

ベースとなる正三角形のプログラムの赤枠の数字を変更させ、2倍に拡大した正三角形を作図するプログラムを制作させる。

右の「リセット」をクリックすると、



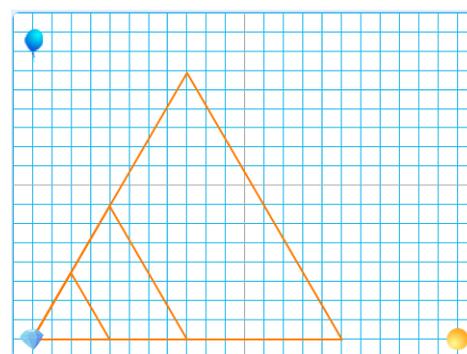
画面の左下のもと位置へ移動し、全ての線が消える。



3 正三角形の $\frac{1}{2}$ の縮図を作図する。

ベースの正三角形は、数値が160であることを再度確認し、プログラムを考えさせる。

リセットをせず、プログラムを入力して実行することで、拡大図、基本図、縮図の三つが描かれる。

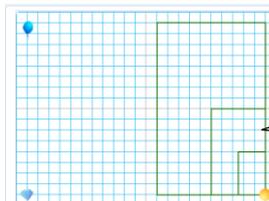


4 長方形の拡大図、縮図を作図する。

画面右下から長方形のSprite (イラスト) を
選択させる (右図)。



正三角形と同様に数値を考えさせ、2倍の拡大図、
 $\frac{1}{2}$ の縮図を作図するプログラムを制作させる。



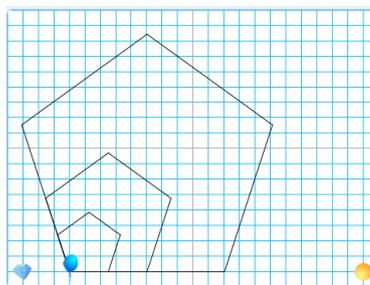
ベースの長方形の数値は、横100、縦160
になっています。

※ 正五角形を作図する。

① **スタートの位置に移動** をクリックし、右上の  を
移動させる。

② **が押されたとき** をクリックして、ベースとなる
正五角形を作図する。

③ 〇倍の拡大図、 $\frac{1}{〇}$ の縮図という課題を出して、
プログラムを制作させる。



ベースの正五角形の
数値は、100 になっ
ています。